

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-1-045
補助事業名 平成26年度 地域社会の安全・安心に資する活動 補助事業
補助事業者名 公益社団法人 全国少年警察ボランティア協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

少年の立ち直り支援を効果的に推進するためには、それにふさわしい場のあることが望ましい。農作物の栽培、収穫等の農業体験には、ひとつの物事に継続して取り組むことによる忍耐力の涵養やこれらの体験を通じた将来の就労に向けた意欲の向上にとどまらず、情操面における教育効果も期待でき、立ち直り支援の場としてふさわしいと考えられる。さらに、農作業活動においては、その期間中には、農作業面だけでなく、人生経験豊かな少年警察ボランティアが話し相手となり、生活面での指導等も行われており、少年の立ち直りには大きな効果が期待できる。

このため、当協会では、全国の少年警察ボランティアと協力し、青少年の健やかな成長を育む活動として、実施しているものである。

(2) 実施内容

① 汗まみれ荒れた畑を耕し心が癒えた少年たち <http://zenshokyo.ecs.or.jp/>

東京都少年補導員連絡協議会は、平成26年4月から12月にかけて4農園の協力を得て、少年に対する農業体験活動を展開した。周知が図られたことにより前年度に比べてほぼ倍増の105人(男72人、女33人)の少年が参加した。

ジャガイモ、さつまいも、とうもろこしなどの体験活動は15回に及び、参加当初は「つまらない」「汚れる」などと抜け出す少年や反抗的な態度をみせる少年や作業に取りかからない少年もいたが、少年警察ボランティアや農業指導員の熱意ある指導により、少年からは「一人ではできなくても、みんなで協力すればできることが分かった」とコミュニケーションが苦手で家族の中の居場所を失っていた少年は徐々に対話力が育まれて家族関係が改善されるようになるなど、人に対する優しさが芽生えたような貴重な体験を通して成長が感じられ、効果は大きいと考えている。



② 農業体験さつまいも、だいこんづくり活動

栃木県少年指導委員会連合会は平成26年6月から12月にかけて、県下、二農園において中学生と有職少年の支援対象少年8人、大学生ボランティアと警察職員・中学校教諭・大学職員など関係者ら計38人が参加し農業体験活動を実施した。

収穫した大根とさつまいもを使った料理教室、対話会を行うことで、充実感や達成感を味わい、人に対する優しさが芽生えたような貴重な体験をした。



③ はじめの一步は田んぼアート体験で成長を実感

新潟県少年警察ボランティア連絡協議会は、平成26年4月から10月まで農業体験を通じた立ち直り支援活動を実施した。継続相談中の少年15人と少年警察ボランティア、保護者等計162人らが参加して「田んぼアート」及びプランター等を利用した菜園活動を実施した。

農業指導者の熱意ある指導や大人の愛情に触れていくうち次第に興味を持つようになり、自分で育てた稲穂に愛着を感じた少年は、来所の度に稲尾の成長に語りかけたり、きちんとした手入れを続けるなど体験を通じて成長が感じられた。



2 予想される事業実施効果

少年の再非行（再犯）の看過は、そもそもわが国の将来を担う少年を健全に育成するという精神に悖るところであり、さらに非行（犯行）の反復は、非行（犯行）の悪質化、さらには成人犯罪者の増加にもつながって、社会不安の元となるものである。

農業体験活動によって、支援対象少年がひとりでも多く立ち直れば、少年の健全育成という国民すべての願いが実現することになり、また犯罪発生数の減少によって、治安が安定し、社会秩序がよくなることになる。

3 本事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

該当なし。

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

該当なし。

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : コウエキシャダンホウジンゼンコクシヨウネンケイサツ 公益社団法人全国少年警察ボランティア協会 キョウカイ
住 所 : 〒102-0093
東京都千代田区平河町1丁目8番2号 山京半蔵門303号
代 表 者 : 役職名 リシ「チヨウ 理事長 ヤマダ 山田 晋作 シンサク
担 当 者 名 : 役職名 ジム 事務局 長 カツマタ 勝侯 茂 シゲル
電 話 番 号 : 03-3239-4970
F A X : 03-3556-1133
E - m a i l : katsumata5605@khc.biglobe.ne.jp
U R A : <http://zenshokyo.ecs.or.jp/>